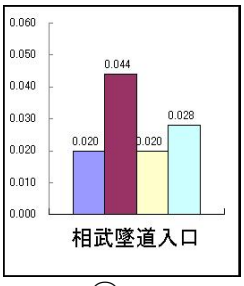
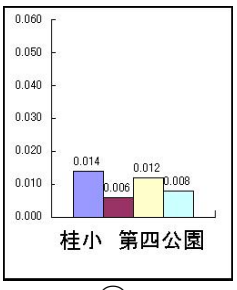
令和元年（2019年）6月期のNO_2定点測定結果まとまる

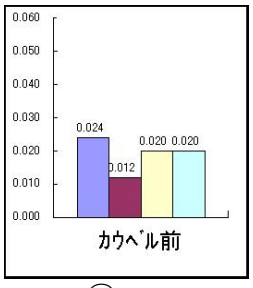
連協環境部では各団体参加のもと、毎年6月と12月の2回第一木、金、土曜日を使って栄区内の定められた場所50箇所に　二酸化窒素の濃度を測定するカプセルを設置して、所謂定期定点観測を続けております。今回は晴れのち雨、微風の中での測定でした。
以下に主な測定点の過去4回の測定値とグラフをしめします。
いずれも環境基準内であり、全52ポイントの平均値は0.014と前回の0.015とほぼ同じです。
環境基準:0.060ppm　　（0.020ppmが最初の基準、達成できず、緩和された）



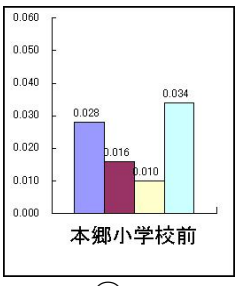
①



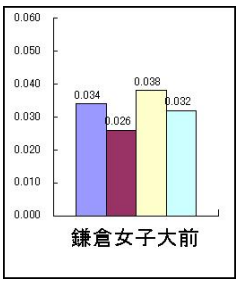
②



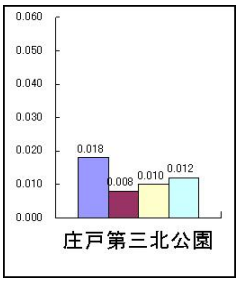
③



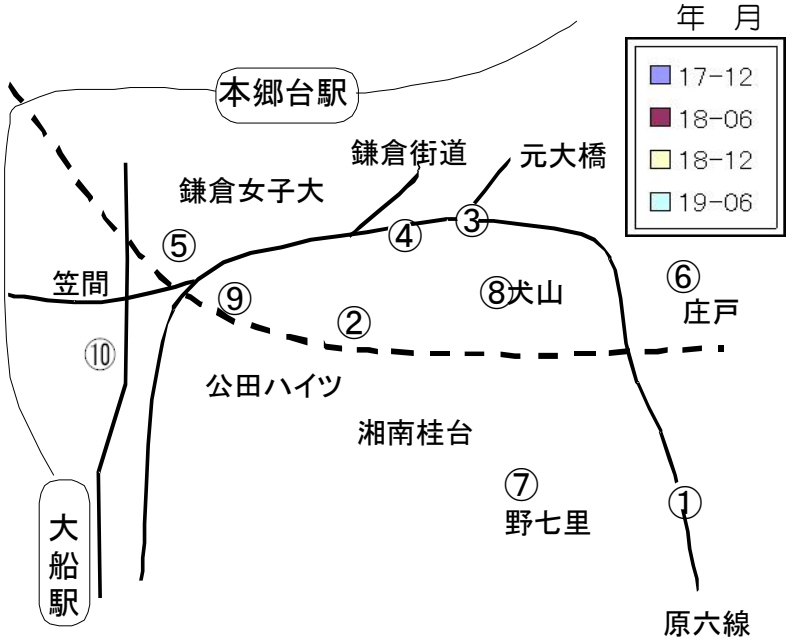
④

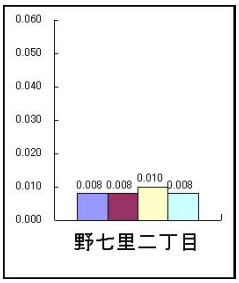


⑤

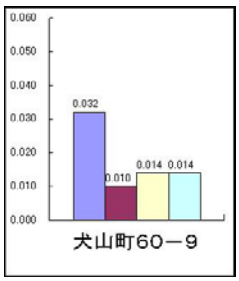


⑥

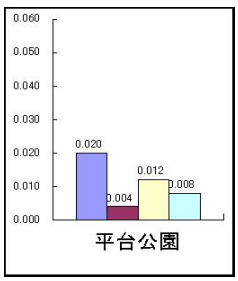




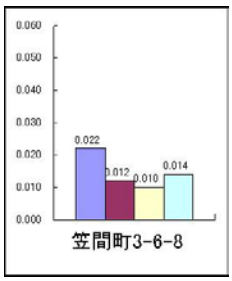
⑦



⑧



⑨



⑩

二酸化窒素測定作業（試薬及び試薬付きろ紙は有限会社筑波総研より取り寄せております。）

カプセルの準備	カプセルにろ紙をセットし、ひも付きカップ、記録紙と共に各団体に配布。
測定	測定場所にカプセルを24時間設置した後回収します。
分析	カプセルに試薬を加えると,ろ紙が吸収した二酸化窒素と反応して赤紫色に着色します。その濃度をエコアナライザーNoxで測定します。ppmでデジタル表示されます。